

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成21年8月13日 (2009.8.13)

【公表番号】特表2009-500250(P2009-500250A)

【公表日】平成21年1月8日 (2009.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-001

【出願番号】特願2008-519622(P2008-519622)

【国際特許分類】

B 6 5 D 85/00 (2006.01)

B 2 4 D 3/28 (2006.01)

B 6 5 D 85/02 (2006.01)

B 6 5 D 81/24 (2006.01)

B 6 5 D 71/08 (2006.01)

B 6 5 D 75/30 (2006.01)

B 6 5 D 65/40 (2006.01)

B 2 4 D 3/00 (2006.01)

B 2 4 D 18/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 85/00 3 2 1

B 2 4 D 3/28

B 6 5 D 85/02

B 6 5 D 81/24 F

B 6 5 D 71/08

B 6 5 D 75/30 A

B 6 5 D 65/40 D

B 2 4 D 3/00 3 4 0

B 2 4 D 18/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月18日 (2009.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの研磨品を包装するシステムであって、

包囲された容積を画定し、前記包囲された容積に近接する内面と前記内面と対向する外面とを有する多層バリア複合材を含んでおり、該多層バリア複合材の水蒸気透過速度が 24 時間で 645 平方センチメートルにつき 0.5 グラム未満である少なくとも 1 つの側壁を含む可撓性包装用品と、

前記包囲された容積内に配置され、複数の研磨粒子及び少なくとも 1 つのバインダ樹脂を含有する成形研磨体を有する少なくとも 1 つの樹脂接合研磨品とを含み、

前記多層バリア複合材がアルミニウム並びにポリエチレン、ポリプロピレン、及びナイロンの少なくとも 1 つを含み、

前記少なくとも 1 つの研磨品が砥石又は切削砥石の少なくとも 1 つを含み、

該包囲された容積内を摂氏 20 度で測定される相対湿度の 20 % 未満の湿度レベルを維持する、システム。